



OvidSP

**Search without
Boundaries**



日本語版ユーザーガイド

2009 年 7 月

Ovid Technologies – Japan Office

Email: Ovid-Japan@wolterskluwer.com

目次

はじめに		保存した検索式の処理法	
ブラウザ条件.....	1	保存した検索の実行.....	11
OvidSP にアクセス	1	AutoAlert の実行	12
リソースの選択.....	2	保存検索式のコピー	12
検索の実行		保存検索式の削除	12
基本検索画面	3	保存検索式名の変更	13
検索モードの種類.....	3	保存検索式の編集	13
1. Basic Search モード.....	3	AutoAlert の編集	13
2. Find Citation モード.....	5	保存検索式の内容表示.....	14
3. Search Tools モード.....	5	保存検索式/アラートの	
4. Search Fields モード.....	6	JumpStart 作成.	14
5. Advanced Ovid Search モード	6	AutoAlert 履歴の表示.....	14
6. SilverPlatter Search モード	7	検索結果	
7. Multi-Field Search モード...	7	検索結果画面	16
検索の戦略		論題表示画面.....	16
検索結果の組み合わせ	8	抄録を閲覧.....	17
検索式の削除	8	レコードに注釈を付加.....	17
重複レコードの削除.....	8	表示画面のカスタマイズ	17
絞込み(Limits).....	9	Search Aids 検索補助.....	18
検索式の保存		Result Manager.....	18
検索式の保存.....	10	Ovid Experience	
AutoAlert の作成.....	10	OvidSP での体験.....	19
保存検索画面.....	11	Ovid について.....	19

Copyright © 2008 Wolters Kluwer Health/Ovid が全ての著作権を所有しています。

Wolters Kluwer Health/Ovid および OvidSP は登録商標です。本文書に含まれる情報は予告なしに変更される場合があります。Wolters Kluwer Health/Ovid の明白な書面による同意がない限りは、いかなる目的のためにも、本文書の一部または全部を電子的であるか機械的であるかにはかかわらず、いかなる形態でも複写・転送することは許可されていません。これには写真複写も含まれます。

本文書は情報提供の目的でのみ提供されています。Wolters Kluwer Health/Ovid は OvidSP ソフトウェアおよびその OvidSP 製品についていかなる保証も行いません。OvidSP ソフトウェアは Wolters Kluwer Health/Ovid が独占的に所有し、米国および国際著作権法によって保護されています。ソフトウェアの使用は添付ライセンス契約の諸条件に従うものとします。ソフトウェアをローカルにインストールした場合、またはソフトウェアにオンラインでアクセスした場合は、ライセンス契約諸条件に合意したとみなされます。

Ovid Technologies Japan Office

2009年7月24日

OvidSP User Guide, Copyright 2009

はじめに

ブラウザの条件

OvidSP を使用するためには、以下のブラウザのいずれかを必要とします。

- ・ Internet Explorer 6 以上 (推奨 IE 7)
- ・ Firefox 2.x 以上
- ・ Netscape 8.0.2 以上 (推奨 Netscape 9.x)

最適な使用環境のために、以下の作業をお勧めします。

- ・ ブラウザのポップアップブロッカーという機能に対して、<http://ovidsp.ovid.com/>からのポップアップを許可する (ブロックしない) 設定をします。
- ・ PDF ファイルを閲覧できるように、Adobe Acrobat Reader plug-in をインストールします。
- ・ ビデオ(.mpeg, .mov, .avi)、オーディオ(wav)とその他の一般的なマルチメディア・ファイル・フォーマットを使用できるようにシステムを設定します。
- ・ モニターの解像度を 1024 x 768 ピクセルと 1280 x 1024 ピクセルの間に設定します。

OvidSP を使用するためのブラウザ設定について詳しくは、Ovid Japan(Ovid-Japan@wolterskluwer.com)にお問い合わせください。

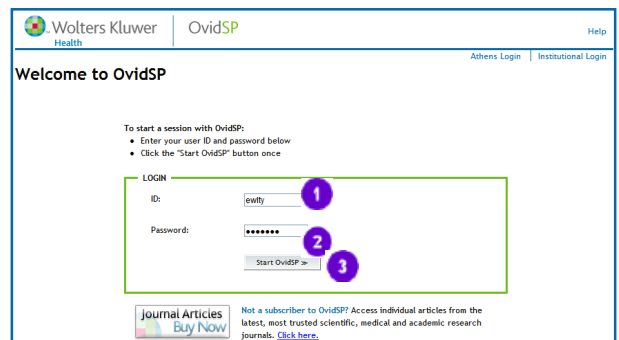
OvidSP へのアクセス

OvidSP 管理者の指定する Website ページまたは図書館のホームページから OvidSP ログイン・ページにリンクすることができます。Welcome to OvidSP のメッセージと共にログイン・ページが表示されます。ただし、IP 認証の場合は、このログイン・ページは表示されません。

OvidSP へログイン (ID & PASSWORD 方式)

1. ユーザーID を入力します。
2. パスワードを入力します。
3. Start OvidSP>> (OvidSP を開始) ボタンをクリックします。

※ユーザーID とパスワードは大文字と小文字を区別します。



Athens 経由ログイン

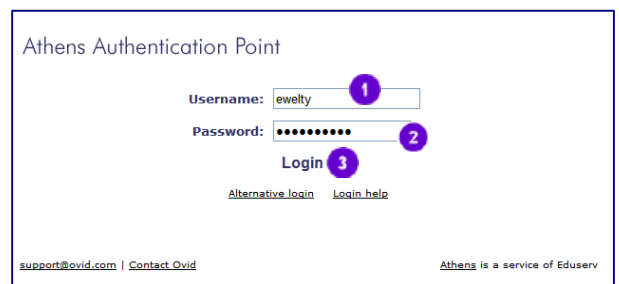
Athens Login をクリックします。Athens Authentication Point (Athens 承認ポイント) 画面が開きます。

1. ユーザー名を入力します。
2. パスワードを入力します。
3. Login >> リンクをクリックします。

※このページでは Athens 承認情報だけが使用可能です。

Athens がログインを行い、OvidSP のセッションを開始します。

※ユーザー名とパスワードは大文字と小文字を区別します。



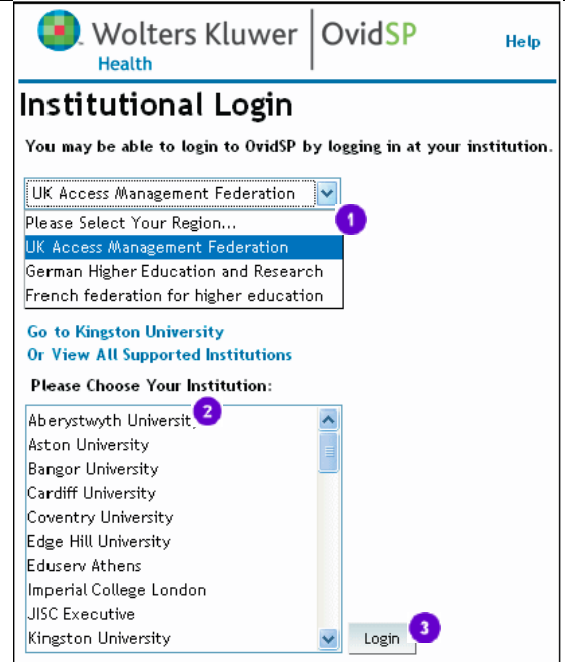
はじめに

Shibboleth 経由ログイン

Welcome to OvidSP の画面の **Institutional Login** をクリックします。Institutional Login 画面が開きます。

1. 使用領域を選択します。OvidSP が利用可能な機関のリストを表示します。
2. あなたの機関を選択します。
3. Login ボタンをクリックします。OvidSP が各機関の承認サービスのログイン画面を開きます。
4. 各機関のプロンプトに従います。

Shibboleth ログイン・ウィンドウが開きます。あなたのユーザー名とパスワードを入力し、認証が行われた後に、OvidSP のセッションを開始します。

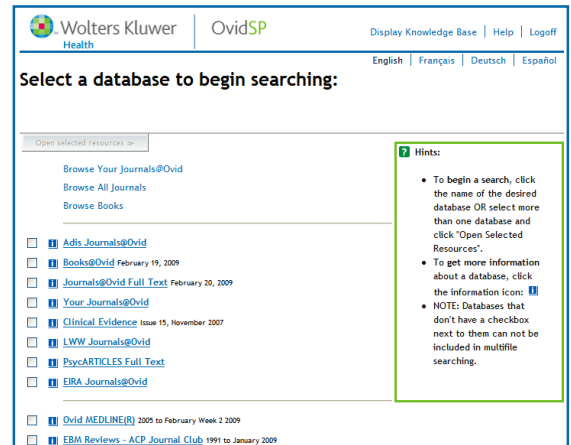


- ※ 所属機関によって Shibboleth ウィンドウは異なります。
- ※ Shibboleth について質問がある場合は、所属機関の Ovid 管理者に連絡してください。

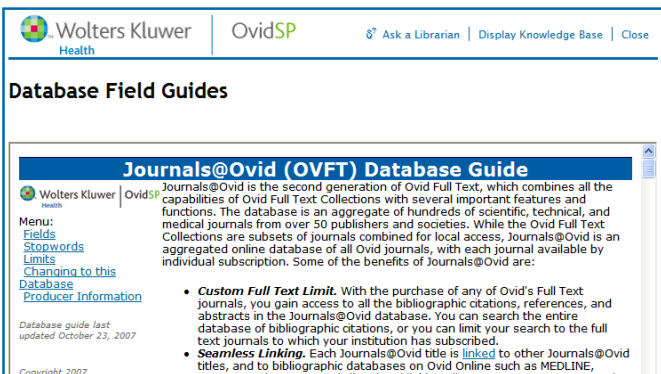
リソースの選択

Select a database (データベース選択)画面には、各機関が購読契約している全てのリソース(データベース・電子ジャーナル・電子ブックなど)が表示されます。

- ・ リソースをひとつだけ選択する場合は、リソース名をクリックします。
- ・ 複数のリソース(データベース、電子ジャーナル、電子ブック)を検索する場合はチェック・ボックスを複数選択してから **Open Selected Resources>>>** ボタンをクリックします。



リソースを選択する前に、そのリソースに関する詳細情報を読みたい場合は、**1** アイコンをクリックします。別ウィンドウに当該データベースの詳細情報(Database Guide)が表示されます。

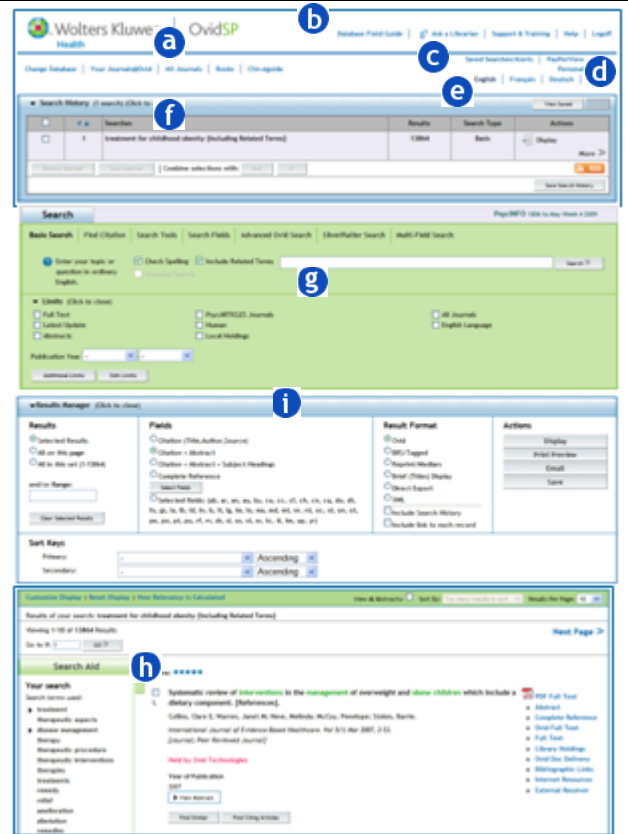


- ※ セッションの処理速度に影響しないように、OvidSP ではマルチ・ファイル検索時に指定できるリソース数を 120 ファイル・セグメント(リソース)数に制限しています。
- ※ 最初、**Open Selected Resources>>>** ボタンは、働かないようにグレー表示されています。1つ以上のリソースを選択しクリックすると、作動するようになります。

検索の実行

基本検索画面 (Main Search Page)

- a. Database Links:** 検索対象を他のデータベース、電子ジャーナル、電子ブックに切り替えて検索します。
- b. Main Menu:** Database Field Guide (データベースの説明書)、Ask a Librarian (専門家に質問)、Display Knowledge Base (Q&A)、Help (オンラインヘルプ)、Log Off (検索終了) にリンクします。
- c. Saved Searches/Alert:** 以前に保存した検索式やアラートの実行、編集、内容表示などをおこないます。
- d. PayPerView Account:** ペイパビュー・アカウントにリンクします。
- e. Available Languages:** OvidSP の言語を英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語に切り替えます。
- f. Search History:** 検索履歴を表示します。
- g. Search Panel:** 検索モードと絞込みを表示します。
- h. Search Aid Tools:** 検索に取り上げた用語と検索に役立つツールを提供します。
- i. Result Managers:** 検索結果を出力 (画面表示・印刷・Email・保存) します。



検索の開始

1. 検索モードを選択します (特に指定しない場合には、**Basic Search** が表示されます。)
2. 検索したい語句または文章を入力します。
3. **Limits** オプション: 発行年や抄録の有無など、絞込み条件を設定することもできます。
4. **Search>>** ボタンをクリックして検索を実行します。

※ ▶ の記号は、その用語をクリックすると、右向の三角が下向き ▼ になり、隠れていた用語を表示します。
 ※ 「Personal Account」にログインすると、「Search バー」の上に、所属機関名と名前 (First Name と Last Name) が表示されます。

検索モードの種類

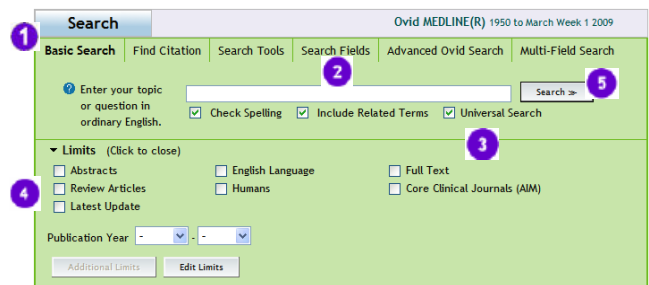
OvidSP では数種類の検索モードを利用できます。

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. Basic Search | 5. Advanced Ovid Search |
| 2. Find Citation | 6. SilverPlatter Search |
| 3. Search Tools | 7. Multi-Field Search |
| 4. Search Fields | |

1. Basic Search モード

Basic Search は OvidSP で (特に指定しない限り) 最初にログインした時に開く検索モードです。全てのリソース (データベース、電子ジャーナル、電子ブック内) を Natural Language Processing (NLP: 自然言語処理) で検索します。

1. **Basic Search** を選択します。
2. 検索したい語句または文章を入力します。**文章形式での質問** を受け付けます。
3. オプションを選択します。**Check Spelling**、**Include Related Terms**、**Universal Search** (契約機関のみ)
4. Limit (絞込み) を指定することもできます。
5. **Search >>** ボタンをクリックして検索を実行します。



OvidSP は、検索結果リストをただちに**適合率の高い順**に表示すると共に、検索履歴を作成します。

※デフォルト (初期設定) の Search タイプは所属機関の Ovid 管理者にご相談ください。

※「Additional Limits」をクリックすると、「Limit a Search」画面が開き、データベース固有の絞込みをすることができます。

検索の実行

Natural Language Processing (NLP: 自然言語処理)の動作

「質問文」に関連する広範囲なテキストや文章の検索を行います。ユーザーは構文規則、検索規則、複雑な検索ストラテジーなどを知らなくても質問したりトピックを検索したりできます。NLP は入力された用語をフィルターし、無関係な雑音となる用語をストップワードとして排除し、実際の検索に取り上げる語・句を選択します。

入力した質問文	検索に取り上げられた語・句
warfarin for treatment of dvt	Warfarin treatment deep vein thrombosis
What are the current criteria for use of prophylactic defibrillators in MI?	criteria prophylactic defibrillators heart attack
ekg changes in hypokalemia	electrocardiogram changes hypokalemia
weather related migraine	weather migraine
interactions between zoloft and vicodin	zoloft vicodin

次に、NLP は専用のレキシコン(語彙)を用いて、検索用語を拡張して、「用語変化」「非常に近い類義語」「頭字語」「スペルの変形」を検索語に含めます。このようにして、広範囲な関連情報の検索結果を取り込みます。レキシコンは National Library of Medicine の Unified Medical Language System (UMLS)メタソーラス、SNOMED CT(2009年8月より導入)、各種辞書とそのソーラス、医学頭字語、医薬品名と病名、アメリカおよびイギリスの標準辞書を用いています。

検索に取り上げられた語	辞書による拡張語
weather	weather, weathers, temperature, heat, ultraviolet, rays, cold, sunlight, humidity, infrared rays, rain, wind, snow, lightning
migraine	migraine, migraines, hemicrania, anencephalies partial, anencephalies incomplete, hemicranial anencephaly

最良の結果を得ることができるように、以下のガイドラインに従ってください。

- ・ 質問をできるだけ簡単に説明してください。
- ・ 動詞よりも名詞を使うようにしてください。
- ・ クエリーの中に疑問符、括弧、ハイフンを使わないでください。
- ・ Check Spelling にチェックマークし、ミススペルを回避してください。

レコードの関連性ランキング

「質問文」に対する関連性の高い順にランキングされます。以下の条件に基づいてランキングされます。

- Count(数)** 節に出現する検索コンセプトの数
- Frequency(頻度)** 節にコンセプトが出現した頻度
- Importance(重要度)** Ovid データベース中の検索用語の発言頻度
- Cohesion(連結性)** 句の中に使われている用語間の接近度

Vocabulary Level(語彙のレベル) 変形や類似語ではなく、ユーザーが検索に使用した用語とレコード中の語句の近似性節ごとに総合的評価がされ、視覚的に星印で5段階にランキングされます。

- ★★★★★ 全ての検索コンセプトが存在し、完全である節
- ★★★★☆ 全ての検索コンセプトが存在するが、一部が不完全である節
- ★★★☆☆ 1つのコンセプトが含まれていない節
- ★★☆☆☆ 2つのコンセプトが含まれていない節
- ★☆☆☆☆ 2つ以上の検索コンセプトが含まれていない節

章のタイトルや節の見出しに検索用語が含まれているレコードが、より高い関連性を持っていると判断します。

検索の実行

2. Find Citation モード

Find Citation は、書誌事項の断片情報で文献を確定するモードです。フィールド内に判明している書誌事項を適宜入力するだけで、該当する文献レコードを確定します。

1. Find Citation モードを選択します。
2. 各ボックスの中に、判明している情報を入力します。
3. Search >> ボタンをクリックし検索します。

検索モードとして、Find Citation を指定した場合にも、検索結果は Basic Search と同じようにただちに表示され、検索集合が作られます。

※Find Citation では、各検索項目は AND 演算されるので、部分一致検索の方が漏れのない検索をできます。各項目には最低 3 文字以上入力してから、トランケーション・マーク(*または\$) を入力します。例えば、タイトル・フィールドに、**ang\$** と入力すると、文献のタイトル内に *angiostrongylus*、*angiogenesis*、*angle* などを含む文献レコードを検索します。

3. Search Tools モード

OvidSP は検索に用いる語句と主題の関連性を、各データベースのなかで見つけやすいように、検索ツールを提供しています。これらは使いやすいように **Search Tools** タブに集約されています。

1. Search Tools モードを選択します。
2. 検索したい語句を入力します。
3. リストの中からツールを選択します(ここでは Map Term を選択しています)。
4. Search >> ボタンをクリックし、Map 機能を作動させます。

Map Term : マッピング- 入力した語句から、当該データベース内で、相当する概念を示す**統制索引語**に誘導します。

Tree : 当該データベースの**統制索引語の階層構造**を表示します。

Thesaurus: 当該データベースでの**統制索引語のリストをアルファベット順**に表示します。

Permuted Index: 当該データベースでの**統制索引語を、それを構成する単語の一部**から探します。統制索引語だけでなく、類似語、関連語、不使用同義語からも検索します。

Scope Notes : 当該データベースでの**統制索引語の定義や説明**を表示します(訳注: データベースによっては、Scope Notes には何の情報も表示されないことがあります)。

Explode : 指定した**統制索引語と、その下位語を含めた包括的な検索**をおこないます。

Subheadings: 主題を示す**統制索引語が、どのような側面から言及されているか、を特定する一連の統制索引語(サブヘディング)**を表示します。

Classification Code: 当該データベースが、研究主題を表示するために利用している**分類コードの一覧**を表示します。

※Permuted Index を使用する場合には、1 単語しか入力できません。

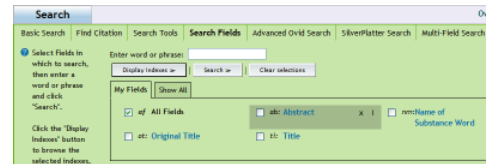
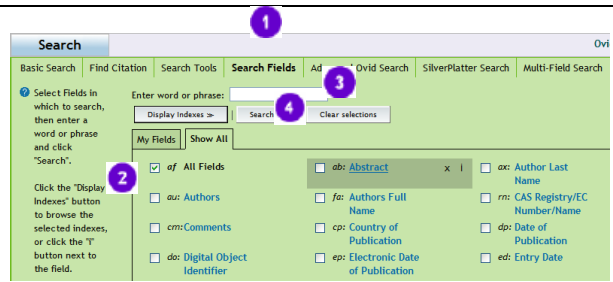
※検索ツールを利用すると、検索したい主題に関連する語句や、そのデータベースでよく使われる**統制索引語**を見つけ出すことができます。OvidSP に用意されているツールは、データベースによって異なります。

検索の実行

4. Search Fields モード

OvidSPでは、選択したリソースで利用可能なフィールドの索引を通覧したり、特定のフィールドだけを指定した検索をすることができます。特定のフィールドから検索されるように指定するには、次の手順をたどります。

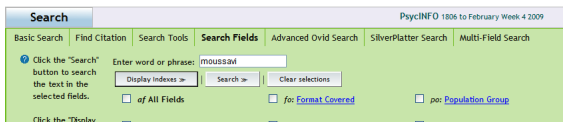
1. Search Fields モードを選択します。
2. 検索したいフィールドのボックスをチェックして選択します(複数も可)。
3. 検索したい語句を入力します。
4. Search >>ボタンをクリックすると、指定したフィールド内での検索をおこないます。Display Indexes ボタンをクリックすると、指定したフィールドでの索引を表示します。



※Search Fields タブで検索を実行した場合にも、検索集合は作られます。

※フィールド名をクリックすると、OvidSP はそれぞれのフィールドの説明や入力例を表示します。

※ **New!** Show All タブのフィールドの中から、My Fields タブに、よく利用するフィールドを(+)のクリックで設定できます。(x)のクリックで My Fields タブから削除します。



1. Display Indexes ボタンをクリックした場合、OvidSP はフィールド・インデックス中の索引で、入力した語句を含む前後のリストが表示されます。表示されたリストから必要と思われる語句のボックスにチェックを入れます。

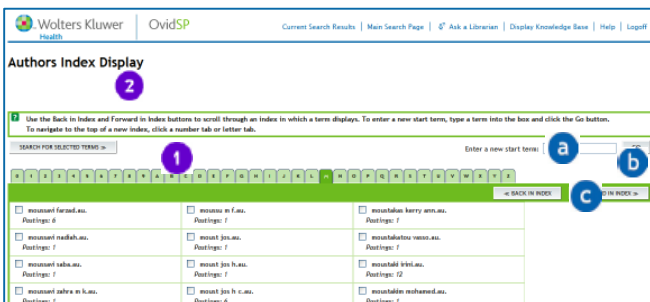
2. SEARCH FOR SELECTED TERMS ボタンをクリックします。索引を確認した上での検索ができます。

下記の誘導機能で索引の中を移動します。

a. 新しい用語を入力し、「GO」をクリックします。

b. 数字やアルファベットの先頭を入力します。

c. FORWARD IN INDEX と Back IN INDEX のボタンを利用します。



5. Advanced Ovid Search モード

1. Advanced Ovid Search を選択します。
2. 検索タイプをクリックします。Advanced Ovid Search モードは4種類(Keyword, Author, Title, Journal)の検索タイプを提供します。
3. 検索したい語句を入力します。
4. オプションを選択します。

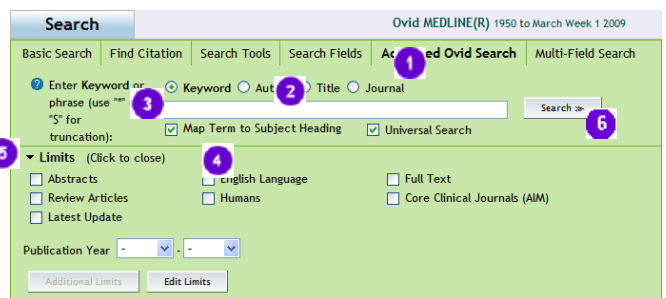
Map Term to Subject Heading(シソーラス搭載しているデータベースのみに表示されます。)

Universal Search(契約機関のみ)

5. Limits オプション: 必要に応じて、絞り込み条件を追加します。

6. Search >>ボタンをクリックし検索を実行します。

※デフォルト(初期設定)は、Keyword になっています。



Keyword : 主題からの検索です。Advanced Ovid Search タブでは、特に指定をしない限り、この Keyword 検索がデフォルトになります。検索したい語句に、これまで Ovid Web Gateway で利用してきた論理演算子 (and, or, not)、近接演算子 (スペース、adj、adj#)、前方一致トランケーション (\$、\$#)、ワイルドカード (?)、コマンド (ドット・ドット・コマンド) 等を組み合わせ入力、検索します。

検索の実行

Author : 特定の著者による文献レコードを検索します。

入力順は、著者のラストネーム スペース もしわかっていれば、ファースト・ネームのイニシャルを入力します。著者名索引の一覧が表示されるので、適切な候補をいくつでも選択します。著者名が部分的に不明な場合には、たとえば smith\$.au. のように名前の一部をトランケーションを用いて入力することもできます。

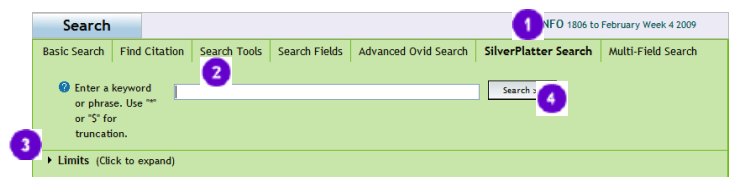
Title : 文献の論題中から入力した単語・句を検索します。

Journal : 雑誌名からの検索ができます。雑誌名の最初の数文字を入力すると、索引が一覧表示され、適切な雑誌名を選択することができます。

6. SilverPlatter Search モード

SilverPlatter Search タブは、WebSPIRS と同じ検索機能を持っています。

1単語以上の語句を入力すると、OvidSP はそのクエリを一「句」と認識して検索します。



1. **SilverPlatter** を選択します。
2. 検索したい語句を入力します。
3. **Limits** オプション: 必要に応じて、絞り込み条件を追加します。
4. **Search >>** ボタンをクリックし検索を実行します。

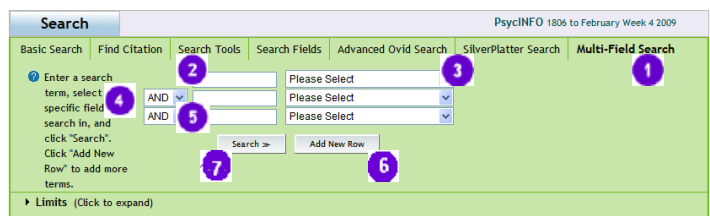
検索モードとして、SilverPlatter Search を指定した場合、検索結果は Basic Search と同じようにただちに最新文献から表示され、従来どおり検索集合も作られます。

※SilverPlatter Search では、WebSPIRS プラットフォームと同じように、検索語の短縮、ワイルドカード、括弧、ハイフンや adj、and、near、not、or、with などの演算子を使用できます。

7. Multi-Field Search モード

特定のフィールドを指定し、AND、OR、NOT を選択することにより、簡単に組み合わせ検索します。

1. **Multi-Field Search** を選択します。
2. 検索したい語句を入力します。
3. **ドロップダウンメニュー** からフィールドを選択します。
4. 検論理演算子 ("AND" "OR" "NOT") を選択します。
5. 検索したい語句を追加入力し、フィールドを選択します。
6. **Add New Row** をクリックして、入力ボックスを追加します。
7. **Search >>** ボタンをクリックし検索を実行します。



※検索結果が Search History に表示されます。

※検索する時に、トランケーション、ワイルドカード、括弧、ハイフンや adj、and、near、not、or、with などの演算子を使用できます。

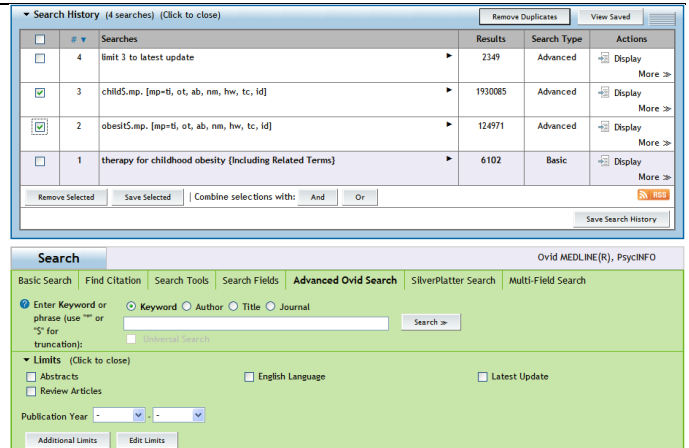
検索の戦略

Search History ウィンドウに検索結果(集合番号)が保持され、後から追跡することができます。

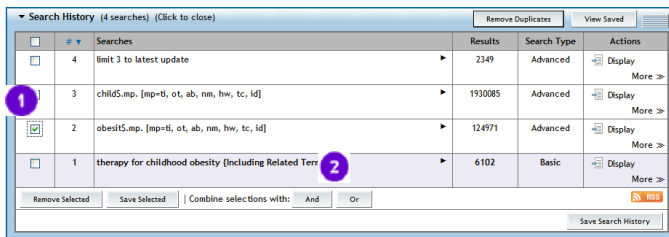
Search History ウィンドウで下記の作業が行えます。

1. AND と OR による検索式の組み合わせ
2. 検索集合の削除
3. 検索式の保存
4. 作成した検索式からの RSS フィードの設定

※ AutoAlert の保存検索履歴内の集合番号が増えてくると、OvidSP は直近の検索式を表示し、それ以前の検索式を折りたたみます。折りたたまれた検索式を表示するためには、検索履歴右側にある **EXPAND** をクリックします。**CONTRACT** をクリックすると、直近の検索式の結果のみ表示されます。



検索結果の組み合わせ



1. 検索集合のボックスを選択します。
2. 組み合わせのボタン(AND あるいは OR)をクリックします。

※And と Or のボタンは、検索タイプが Advanced の場合に有効です。ただし、Basic の検索タイプの検索結果も Advanced Ovid Search モードでコマンド方式で組み合わせ検索できます。

入力例: 1 and 2 and 3、and/1-3、1 or w or 3、or/1-3、1 not 3

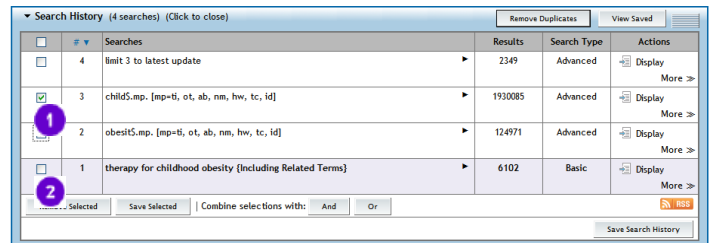
検索式の削除

検索集合が不必要になった場合、検索履歴を整理するために、それらを削除します。特定の検索集合を選択し、一度に削除したり、全ての検索集合削除します。

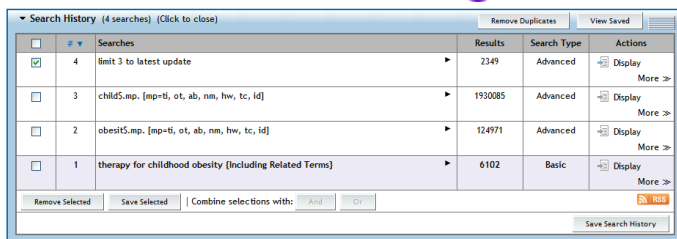
1. 検索集合のボックスを選択します。
2. **Remove Selected** をクリックします。

※ すべての検索履歴を消去するには、Searches 列の左上端にあるチェック・ボックスを選択してから **Remove Selected** ボタンをクリックします。

※ 削除した検索集合は、同じ検索をやり直す以外に復元する方法はありません。



重複レコードの削除



リソースを複数指定した検索(マルチファイル検索)では、同じレコードが複数のデータベース内に存在し、それらを含んだ検索集合が作られる場合があります。検索結果を通覧、保存、印刷する前に、検索履歴の重複したレコードを識別し、除去する機能があります。

検索戦略

1. **Remove Duplicates** ボタンをクリックします。
Remove Duplicates のためのページが開きます。
2. 重複を識別、除去したい検索式を選びます。
3. 優先的に残したいデータベースや、優先順位の判定に利用するフィールドを選びます。
4. **Continue >>** ボタンをクリックします。

優先指定されたフィールドの有無、指定されたデータベースの優先順位にしたがって、指定された検索式の重複レコードの識別・除去がおこなわれます。優先順位が高いリソースからのレコードを残し、優先順位の低いリソースから重複するレコードを除去します。

重複の識別と除去が行われると、新しい検索式が作成され検索履歴に表示されます。

※6,000 件以上のレコードの検索集合を重複除去することはできません。

絞込み(Limits)

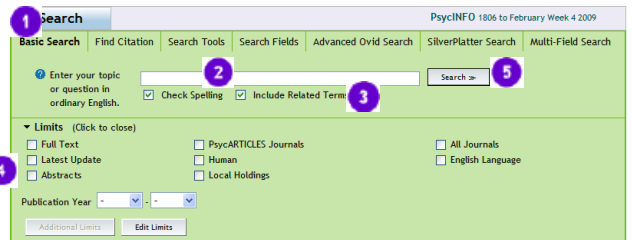
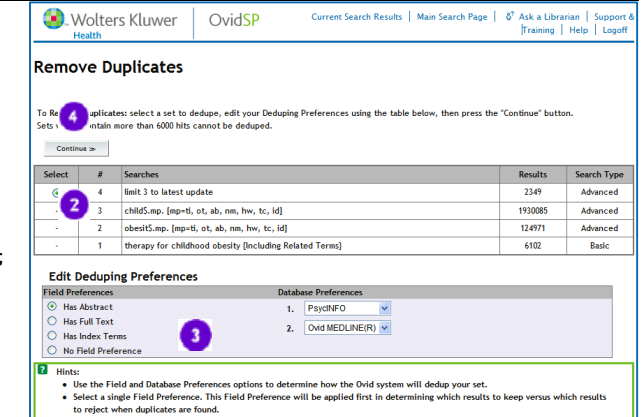
特定の検索や検索式を一定の条件にも基づいて絞り込むことができます。検索や検索集合は指定した条件によりフィルタリングされ、レコード数は少なくなります。OvidSP では、利用できる Limits オプションは 2 種類あります。

- ・ Basic Search モードなどの検索画面上にある共通の絞込み
 - ・ **Additional Limits** をクリックして表示される **Limit a Search** 画面のデータベース固有の絞込み
- 共通の絞込みは、Advanced Ovid Search あるいは SilverPlatter Search モードでも利用できます。

共通の絞込

共通の絞込みは、Basic Search タブでは、検索語句の入力ボックスの直下に表示されます。デフォルトでは表示されていませんが、**Limits** をクリックすると表示されます。基本検索画面に表示される Limits 項目をカスタマイズするには、**Edit Limits** ボタンをクリックします。Limits の左のボックスにチェックマークし、**Customized Limit** ボタンをクリックします。

1. Basic Search タブを選択します。
2. 検索したい語句または文章を入力します。
3. オプション:**Check Spelling** ボックスを選択すると、OvidSP が入力された語句のスペルをチェックします(デフォルトでは設定 ON になっています)。**Include Related Terms** ボックスを選択すると、関連する用語まで含めて広範な検索をします。
4. ▼**Limits** から、適当な絞込み条件を選択します。
5. **Search >>** ボタンをクリックして検索します。

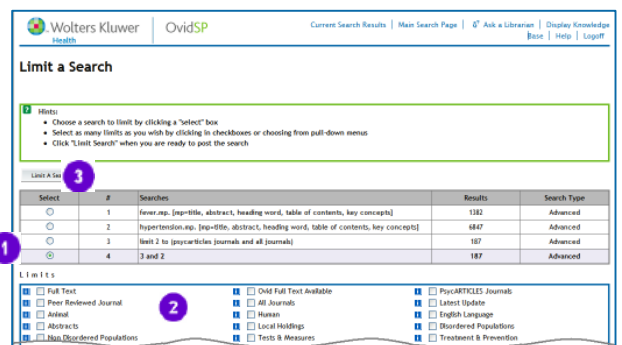


絞込みを含めた検索がおこなわれ、新しい検索式が作成され検索履歴に表示されます。

データベース固有の絞込み

▼**Limits** をクリックして Common Limits を表示させると、最下段に **Additional Limits>>>** ボタンが見つかります。**Additional Limits>>>** ボタンをクリックすると、そのデータベースで利用可能なすべての Limits 項目を表示する **Limit a Search** 画面が開きます。

1. 絞り込みを適用したい検索集合番号を検索履歴から選択します。
2. 適用したい絞込み項目をチェックあるいはプルダウンから選択します(複数選択可能)。
3. **Limit a Search** ボタンをクリックします。

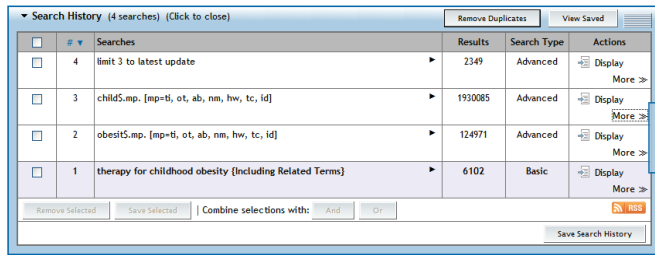


指定した検索式に対して絞込み検索がおこなわれ、新しい検索式が作成されます。

※Ovid Full Text Available と Full Text の絞込みは、貴期間の Ovid 管理者が利用できるように設定します。

検索式の保存

検索式の保存

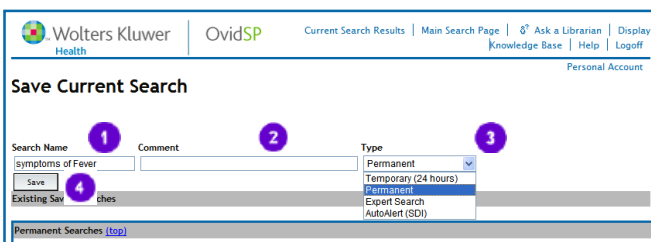


OvidSP では、どの検索モードにおいても、作成した検索式を記憶させることができます。一度ログオフした後、それぞれの検索式を再びマニュアルで入力し直さなくても、保存した検索式を呼び出して、検索を再実行することができます。

検索履歴の下にある、**Save Search History** ボタンをクリックすると、**Save Current Search** 画面が開き、検索履歴の保存をおこなうことができます。

※Ovid Online のアカウントを共有している場合でも、**Personal Account (個人用アカウント)**を登録し、個人単位で検索式や AutoAlert を保存することができます。

検索式の保存



検索履歴の保存には、4 通りの方法があります。

1. temporary (一時保存)
2. permanent save (永久保存)
3. expert search (エキスパート検索として保)
4. AutoAlerts (自動アラートとして保存)

Permanent Save の保存例：

1. 保存検索式の名前を入力します。

2. オプション：必要に応じて、コメントを入力できます。
3. 保存するタイプ (temporary/ Permanent/ expert search/ Auto Alert) を選択します。
4. Save ボタンをクリックし、保存します。

Main Search Page (基本検索画面) に確認メッセージが表示されます。



AutoAlert の作成

OvidSP の AutoAlert は、以下のような場合に保存してある検索式を自動実行し、新しい検索結果を E-メールで登録されたアドレスに送付します。

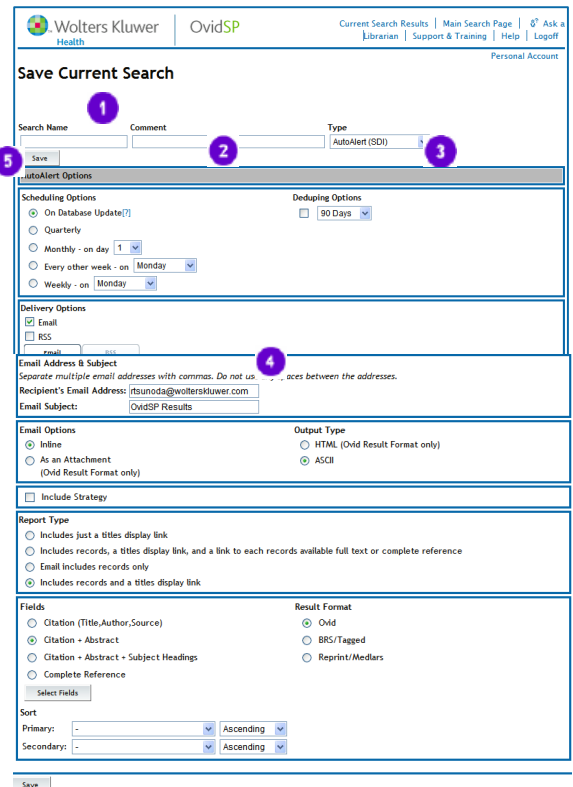
- ・新しくデータベースに追加されたレコードが、保存してある検索式に適合した場合
- ・新しいレコードが、データベースに追加された場合、
- ・任意に設定された Auto Alert の実行スケジュールにしたがって AutoAlert を一定の間停止させ、後に必要に応じて一時停止を解除することもできます。

Auto Alert の登録方法：まず、登録したい検索式をデータベースで作成し、その後 **Save Current Search** ボタンをクリックして、登録を始めます。

1. Auto Alert 登録名を決めて、Search Name ボックスに入力します。
2. オプション：必要に応じてコメントを入力します。
3. 保存のタイプを AutoAlert(SDI) に指定します。
4. Schedule, Email 配信などのオプションを指定します。
5. Save ボタンをクリックし Auto Alert として保存します。

AutoAlert のオプション

- a. **重複除去**：現在および過去の Auto Alert の検索結果から重複レコードを除去する設定を指定。
- b. **配信オプションを選択**：E-メール、RSS フィードあるいは両方を選択できます。



検索の保存 / 保存した検索式の処理法

- c. **レポート・タイプを選択**:アラートとして Email で配信する出力(レコードとリンク; JumpStart URL)を選択します。
- d. **フィールド・オプションの選択**:アラートの出力形式を選択します。**Select Fields** ボタンをクリックして、出力フィールドを自由に指定することもできます。
- e. **検索結果のフォーマット**:レコードを出力する際のフォーマットを選択します。
 ・Ovid 形式 ・BRS/タグ付形式 ・リプリント/Medlars 形式
- f. **レコードの並び替え**:2 つのキーとなるフィールドを指定して、検索結果を並び替えてから出力することができます。

必要なオプションをすべて指定してから、**Save** ボタンをクリックします。Main Search Page (基本検索画面)に、登録完了のメッセージが表示されます。

※重複除去できるのは、最大 6000 件以下の検索集合でしか作動しません。Auto Alert を登録する場合にも、この限界は適用されるので、注意が必要です。次の作業によって作られた検索履歴は、Auto Alert プロファイルとして保存することができません。

- ・ dedup 重複除去
- ・ remove duplicates from x 集合 x から重複を除去
- ・ limit to update range 更新の範囲を指定

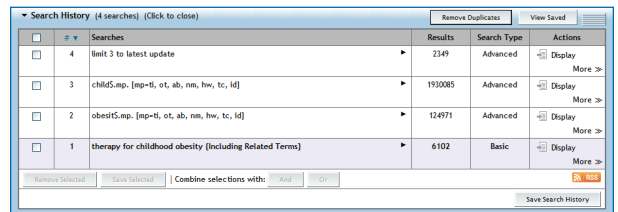
保存した検索式の内容表示

Save Current Search 画面の下に、これまでに保存した検索式が全て表示されます。

※ ここで編集等をおこなうことはできません。保存した検索式の実行、削除、コピー、編集、または OvidSP Jumpstart を作成するためには、Main Search Page (基本検索画面)右上に表示される **Saved Searches/ Alerts** をクリックします。

保存検索画面

Search History ウィンドウの上部に表示される **View Saved** ボタンをクリックしても、同じ編集画面を呼び出すことができます。

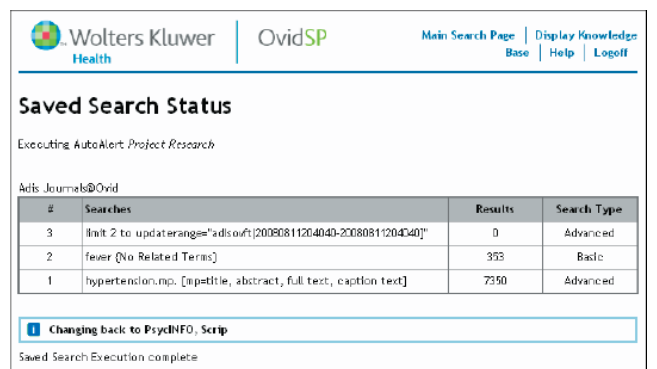
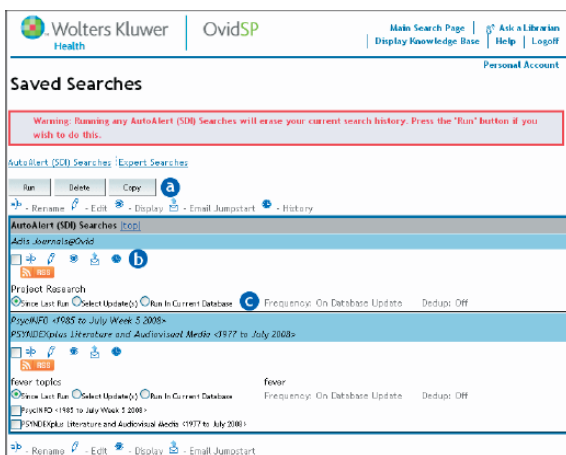


Saved Searches 画面では、次のような作業ができます。

- a. 保存検索式を指定して、実行・コピー・または削除
- b. 保存検索式の名称変更、保存検索式の編集あるいは表示。保存検索式の検索結果への Jumpstart URL を E-メール送信。または、AutoAlert の実効履歴の表示
- c. Auto Alert のマニュアル実行 (最終実行以降で実行、指定した更新分で実行、現在のデータベース内で実行)。

保存した検索の実行

保存検索式を指定して、**RUN** ボタンをクリックすると、現在利用中のデータベースのなかで、保存検索式が実行されます。実行メッセージの表示後、Main Search Page をクリックして基本検索画面にもどると、実行した保存検索式の分の検索履歴が増えていることが確認できます。



保存した検索式の処理法

AutoAlert の実行

Saved Searches 画面から、特定の Auto Alert プロファイルを指定して、マニュアルで AutoAlert を実行することができます。たとえば次のような場合に役に立ちます。

- ・ 設定されているスケジュールより、早くアラートを実行したい。
- ・ 現在のアクセス中のデータベースで、Auto Alert プロファイルの検索式を正確に実行したい。

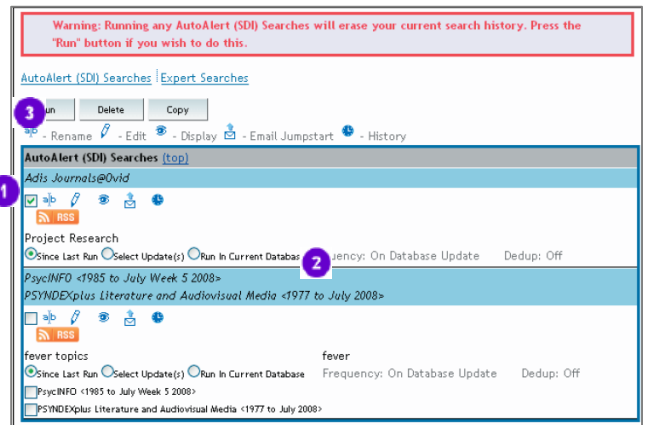
1. 実行したい Auto Alert プロファイルをチェックで選択します。
2. Auto Alert を実行するデータの範囲を指定します。

Since Last Run :最後に AutoAlert が実行された後に追加されたレコードの範囲で実行

Select Update(s) :検索対象のデータ範囲をマニュアル指定して実行

Run in Current Database :現在接続中のデータベース内で指定した AutoAlert プロファイルを実行

3. Run ボタンをクリックし、Auto Alert プロファイルを実行します。OvidSP は、選択されたデータ範囲に対して AutoAlert の検索を実行します。



Run in Current Database を指定した場合、実行された検索結果は新しい集合となって、検索履歴に表示されます。これらの検索履歴を利用して、再度 Auto Alert profile を登録することもできます。

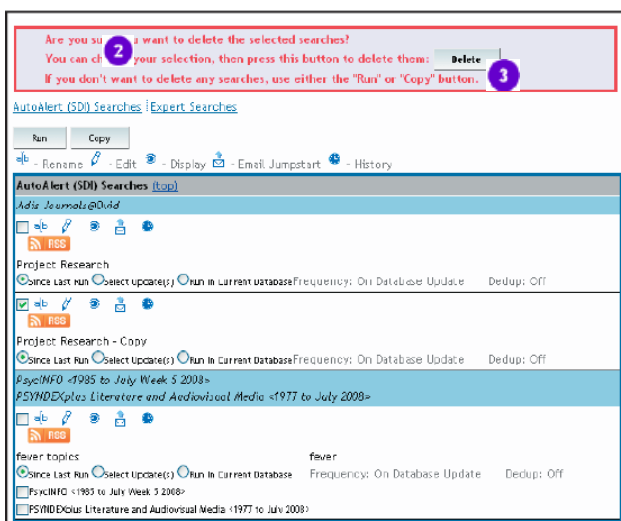
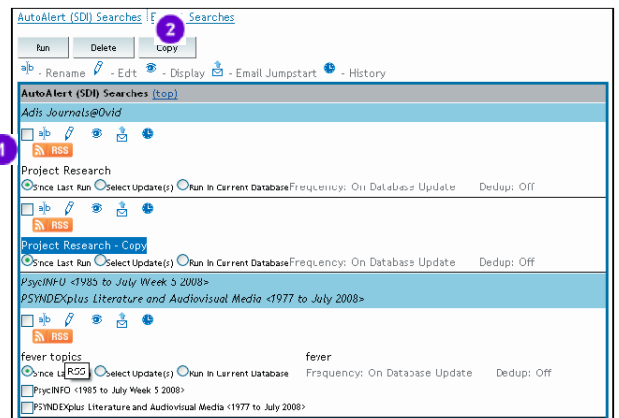
Since Last Run あるいは **Select Update(s)** を指定した場合には、検索結果は E-mail で送信されます。OvidSP では、マニュアルで AutoAlerts を実行した場合には、重複除去はおこなわれません。

保存検索式のコピー

1. コピーしたい保存検索式をチェックで指定します。
2. Copy ボタンをクリックします。コピーされた保存検索式は、もとの保存名に - COPY と追記され、コピー元の保存検索の下に並べて表示されます。

目的に合わせてコピーを編集します。

コピー機能を使うと、ひとつの検索戦略を元に数種類の検索戦略を展開することができます。



保存検索式の削除

1. 削除する保存検索式のチェック・ボックスを選択します。
2. Delete (削除) ボタンをクリックします。OvidSP が削除を確認するメッセージを表示します。
3. Delete (削除) ボタンをクリックします。

OvidSP が選択した検索式を削除し、ページをリロードします。

※Ovid 管理者だけが、shared と expert searches を削除することができます。

保存した検索式の処理法

保存検索式名の変更

1. 名称を変更したい保存検索式の **Rename** アイコンをクリックします。既存の保存検索名がアクティブ・テキスト・ボックスに表示され、編集が可能になります。
2. 新しい保存検索名を入力します。最初と最後にスペースを入れることはできません。また、無効なキャラクタは使わないでください。
3. **Save** アイコンをクリックして、新しい保存検索名を保存します。

※ 保存検索一覧に、新しい保存検索名が表示されます。

※ 同じタイプに属する保存検索には、同じ名称を用いることはできません。同じ名称で保存しようすると警告メッセージが表示されます。

保存検索式の編集

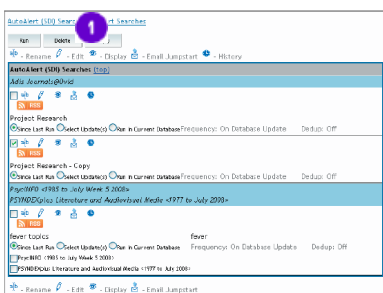
1. 編集したい保存検索の **Edit** アイコンをクリックして、編集画面を開きます。
2. 変更を入力します。
 - a: Insert** どの行間にも新しい検索式を挿入できます。
 - b: Edit** 指定した保存検索内の、どの検索式も編集可能です。
 - c: Delete** 指定した保存検索内の、どの検索式も削除可能です。
3. 検索式の変更を決定します。
4. 最後に **Save** ボタンをクリックして、変更を保存します。

保存検索式に付けるコメントも、このページから変更できます。

変更終了後は、Saved Searches 画面に戻ります。

Basic Search での Natural Language Processing (文章形式の入力)を用いて作成された検索式は、編集することができません。

AutoAlert の編集



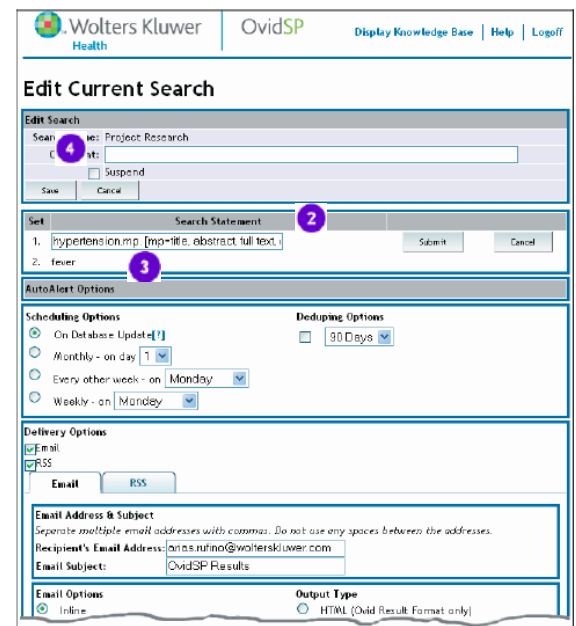
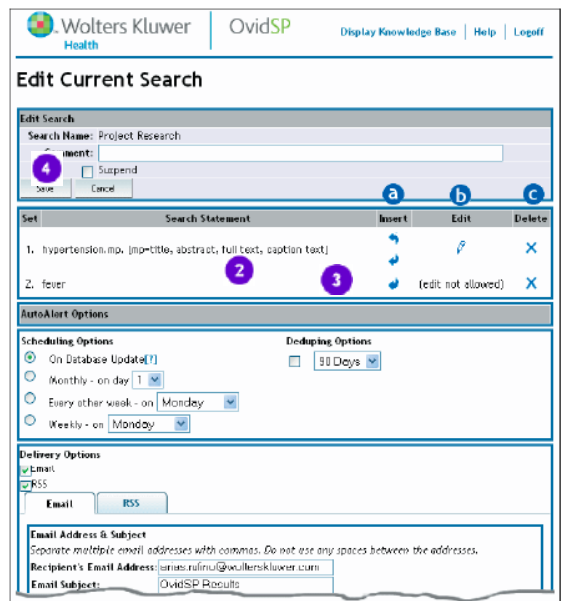
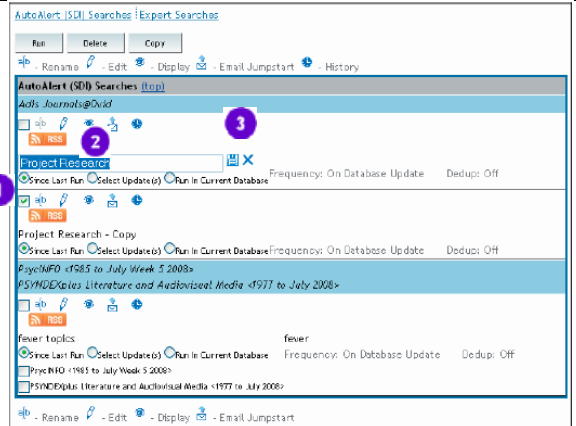
1. AutoAlert の Edit(編集)アイコンをクリックして、Edit Current Search 画面を開きます。AutoAlert の場合、この画面には AutoAlert に固有のオプションが含まれています。

2. 各検索式に希望の変更を入力します。

3. AutoAlert に固有のオプションを編集します。このセクションから AutoAlert を一時停止します。または一時停止を解除します。AutoAlert のデータベースの選択は変更できません。

4. **Save** (保存) ボタンをクリックします。

OvidSP が変更を行い、Saved Searches ページに戻ります。



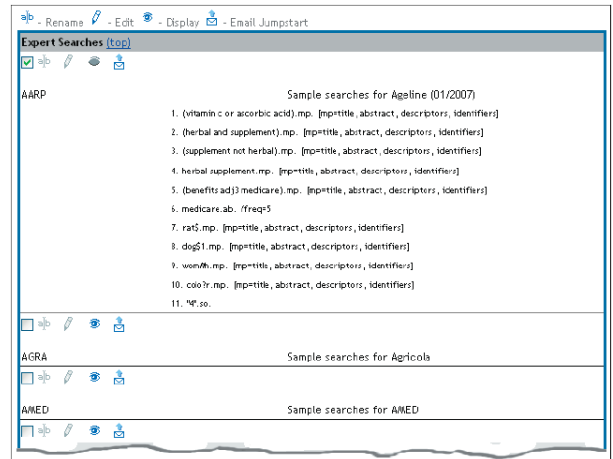
保存した検索式の処理法

保存検索式の内容表示

保存検索の Display (Eye) のアイコンをクリックします。OvidSP が検索の内容 (検索式) を表示します。

※表示画面を閉じるには、Closed Eye アイコンをクリックします。

※保存検索の内容が表示されている時は、開いた目になります。

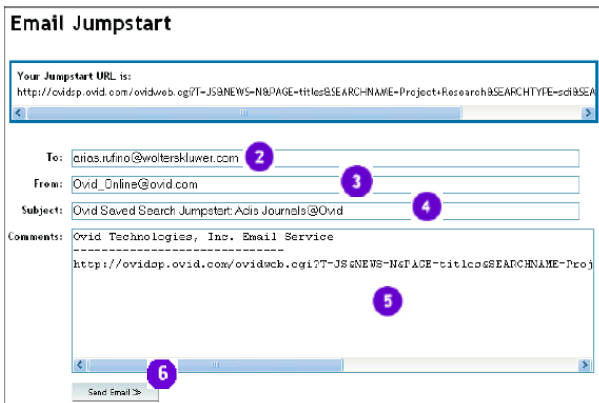
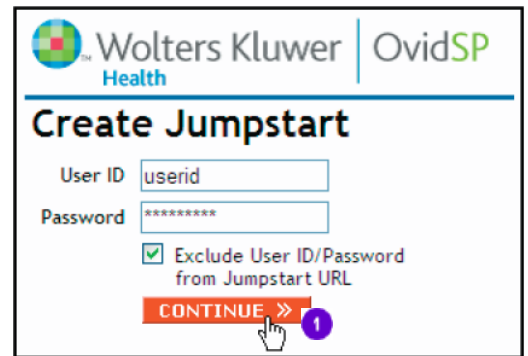


保存検索/アラートの JumpstartURL の作成

指定した保存検索式あるいは、Auto Alert プロファイルの **Email Jumpstart** アイコンをクリックすると、Email Jumpstart 画面が開き、当該保存検索の検索結果にリンクする jumpstart URL を e-mail で送信することができます。JumpStart URL の中に埋め込むために、User ID と Password を入力する画面が開きます。

※日本は非表示にしています。

1. Continue ボタンをクリックします。
2. 送付したい E-メール・アドレスを入力します(カンマで複数入力可能)。



3. オプション: 送付元として表示される E-メール・アドレスを入力できます。
 4. オプション: 送付する e-mail の Subject を自由に入力できます。
 5. オプション: 送付する URL が表示されますが、コメントを追加することもできます。
- 例: URL 情報を変更しないでください。変更すると Jumpstart が作動しません!

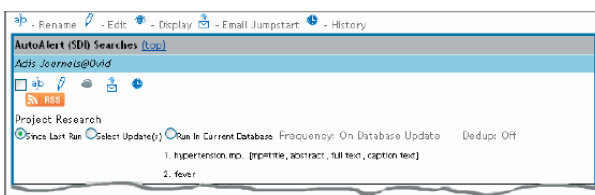
6. Send Email >> ボタンをクリックします。

確認メッセージが表示され、Jumpstart URL が E-メールで送付されます。

- ・ 保存検索式から Jumpstart を E-メールすると、指定したデータベースの中で、送られた URL が OvidSP セッションを開きます。
- ・ AutoAlert から Jumpstart を E-メールすると、AutoAlert が作成されたデータベース中で、送られた URL が OvidSP セッションを開きます。

AutoAlert の履歴の表示

AutoAlert の **History** アイコンをクリックすると、当該 Auto Alert プロファイルの履歴(ログ)が表示されます。



保存した検索式の処理法

AutoAlert History 画面は、指定した AutoAlert プロファイルに関するアクションの記録で、以下の情報を含みます。

- a: Search Name** AutoAlert の名前
- b: Database(s)** AutoAlert profile が登録されているデータベース名
- c: Date (Greenwich mean Time)** AutoAlert profile に関する変更等のアクションのあった日付と時間の記録
- d: Event Type / Event Details** AutoAlert profile に関する変更等のアクションの詳細
- e: Creation** AutoAlert を作成した日時

Date (GMT)	Event Type	Event Details
2008-08-13 10:01:27	Run [User Request]	0 results using adisovft[2008081204040-20080811204040]
2008-08-13 09:58:58	Run [User Request]	0 results using adisovft[2008081204040-20080811204040]
2008-08-13 07:09:19	Run [Automated]	0 results using adisovft[2008080202555-20080811204040]
2008-08-12 07:32:10	Run [Automated]	0 results using adisovft[2008080700256-20080808202655]
2008-08-09 06:47:17	Run [Automated]	0 results using adisovft[20080806201612-20080807200256]
2008-08-08 07:27:45	Run [Automated]	0 results using adisovft[20080805222725-20080806201612]
2008-08-07 08:19:21	Run [Automated]	0 results using adisovft[20080804201958-20080805222725]
2008-08-06 07:08:01	Run [Automated]	0 results using adisovft[2008081214310-20080804201958]
2008-08-05 11:25:41	Run [Automated]	0 results using adisovft[20080731193930-2008080714310]
2008-08-02 04:09:20	Created	1 results using adisovft[2008073023246-20080731193930]
2008-07-30 04:09:20	Run [Automated]	0 results using adisovft[20080725191357-2008073023246]

※Auto Alert Profile をコピーして新しい Profile を作成した場合、元の Auto Alert Profile の実行履歴は引き継がれませんが、コピー元の Auto Alert Profile 名は表示されます。

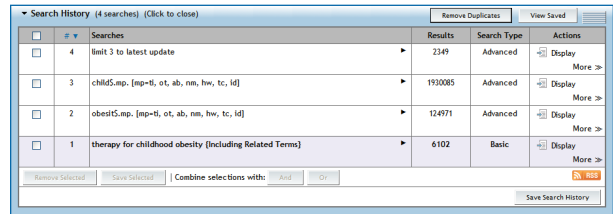
※稀に保存検索式が、AutoAlert 履歴に表示される場合があります。その場合、リンクをクリックすると、OvidSP は現在のセッションの検索履歴を消去し Auto Alert Profile を作成したデータベースに切り替えるのでご注意ください。

検索結果

検索結果画面

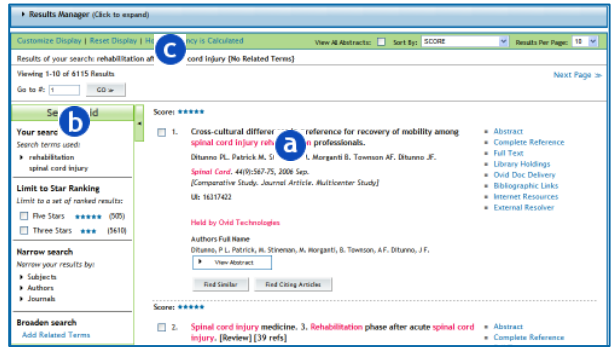
検索結果画面で、論題と検索に使用された関連語の詳細を閲覧します。

検索履歴中の **Display** ボタンをクリックすると、その検索集合に含まれるレコードを表示する **Search Results** 画面が開きます。



a. Record Titles Display: 結果を論題リストの形で表示します(論題の他に著者名と出典情報も表示されます)。

b. Search Aid Tool: 検索補助画面を表示するフレームです。検索に利用された検索語が **Your Search** として一覧表示されます。**Limit to Star Ranking** でスター(★)毎のヒット件数を確認し、絞込みます。また検索結果を分析し、適切な絞込みが行える出現頻度の高い概念を主題・著者名・雑誌名に分けて、**Narrow Search** 部分に表示します。より広範な検索ができるよう、関連する語を含めた検索として **Broaden search** も案内されます。



c. Result Manager: 選択したレコードについて検索結果の表示、印刷プレビュー、E-メール送信、保存、エクスポートなど、出力方法や出力範囲、形式などをまとめてコントロールするボックスです。

※ データベース、電子ジャーナル、電子ブックなど、すべてのリソースについて、同様の Search Results 画面が表示されます。

論題表示画面

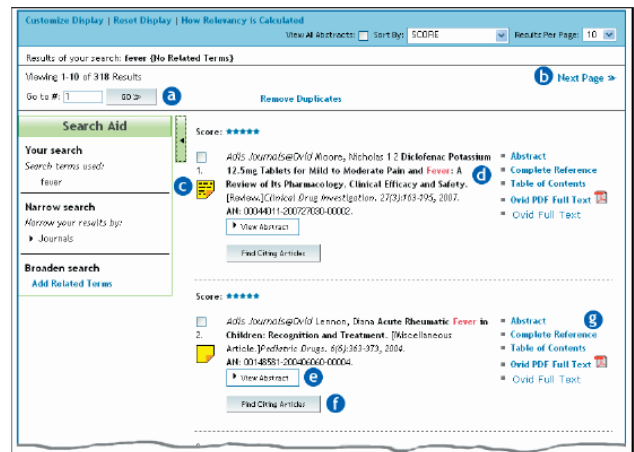
a. Go to : #: #に任意の数字を入力することにより、#番目のレコードにジャンプすることができます。

b. Previous/Next Page: ページ単位で、検索結果の表示リスト内を前後に移動できます

c. Annotation: 任意のレコードに注釈を加えることができます。

d. Title display: 論題、著者、キーワード、関連情報などの正確な情報を提供します。

e. View Abstract: 論題表示画面内で、同一ウィンドウに抄録を表示することができます。各レコードの迅速なレビューに役立ちます。



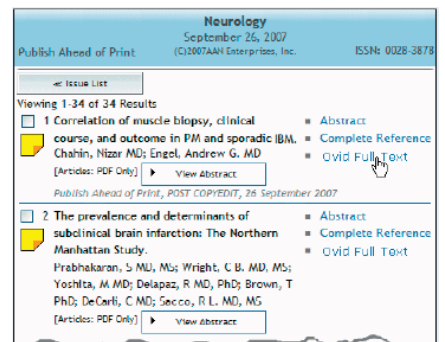
f. Find Citing Articles: タイトルの相同分析にもとづく類似レコードを検索する **Find Similar**、当該レコードが引用している文献を探す **Find Citation Articles** を表示します。**Find Citation Articles** リンクは、Journals @Ovid を購読していないと表示されません。

g. Reference Links: フルレコードの表示(**Complete Reference**)、抄録の表示(**Abstract**) など出力する情報量へのリンクの他、**Ovid Full Text**、**Document Delivery Service** など外部情報源へのリンクを設定すると、購読状況が表示されます。

Published Ahead Print レコード

Journals@Ovid の Publish Ahead of Print (PAP: 冊子体発行前の論文)は、重要コンテンツが印刷体として発刊される以前にオンライン・アクセスを提供します。論題表示画面の中で「Publish Ahead of Print」とマークされているレコードを探してください。

PAPフルテキストは、Ovid の発刊前先行発表プログラムに参加している出版社が出版する一部のジャーナルで利用可能です。PAPコンテンツは全てピアレビューされ、出版が承認されています。



検索結果

抄録の表示

以下をクリックするとレコードの抄録を閲覧できます。

- ・ **View Abstract** : 論題表示画面中に抄録を表示させることができます。
- ・ **Abstract リンク**: 抄録は、別ウインドウに表示されます。

※抄録中に含まれる検索に利用された語句は、ハイライトされます。

レコードに注釈を付与(Annotation)

1. 注釈を加えたいレコードの **Annotation** アイコンをクリックします。Annotation の編集画面 Edit Annotation が開きます。
2. テキスト・ボックス内に任意の注釈を入力します(訳注: 日本語も対応可能)。
3. **Save Annotation** ボタンをクリックして、注釈を保存します。

注釈が記入された **Annotation** アイコンには、黒い文字列が見えます。

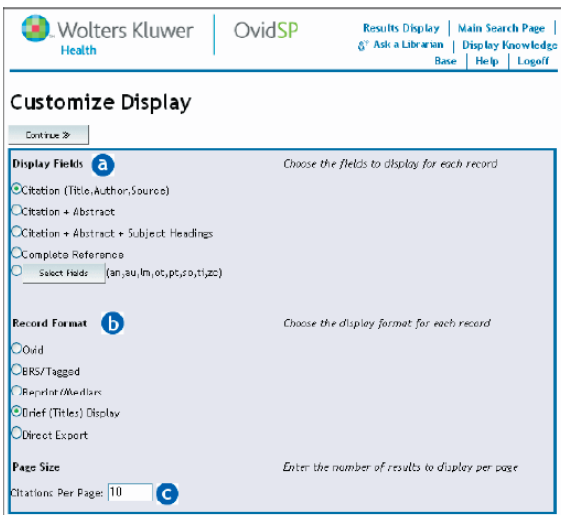
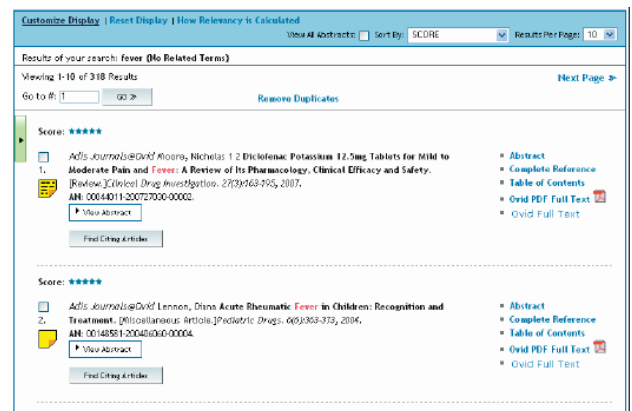
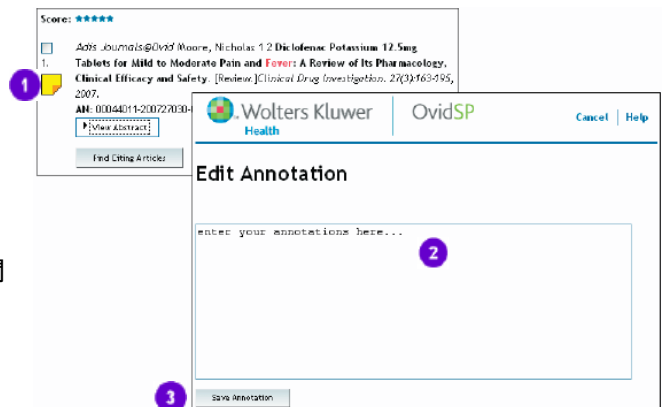
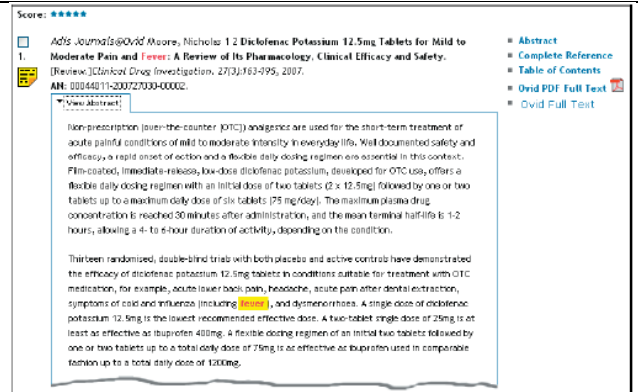
Annotation は、随時閲覧、変更、または削除できます。Annotation は削除しない限り、各機関の購読契約が有効な間は保持されます。

※Personal Account(個人アカウント)にログインしないと、**Annotation** アイコンが表示されない場合もあります。

表示画面のカスタマイズ

Customize Display をクリックし、画面の見え方や感じをカスタマイズします。必要な範囲や形式を設定します。

- Display Fields** : 出力させたいフィールドを自由に選択して設定できます。
- Record Format** : レコードの表示フォーマットを自由に選択・指定できます。
- レコード数**: 1 ページに表示するレコード・タイトル数を指定できます。



Continue>> ボタンをクリックすると、カスタマイズ設定が登録されます。

変更を取り消してデフォルト設定に戻すには、**Reset Display** アイコンをクリックします。

検索結果

Search Aids : 検索補助

OvidSP の Search Aids フレームを利用すると、検索集合を、従来の条件設定ではなく、出現頻度分析にもとづく効果的な絞り込みをおこなうことができます。

a. Your Search : OvidSP が検索の実行に用いた語句を表示します。

Related Terms を含む検索をした場合には、Related terms として使われた語句が、入力した語句の下にまとめて表示されます。

b. Limit to Star Ranking New !

Limit to Star Ranking では、抽出された概念の出現頻度や近接度合い、重要性などを解析し「関連性の高さ」によって、スター(★)毎のヒット件数を表示します。左のボックスをクリックすると、そのスター(★)に絞り込みます。ただし、検索履歴は誕生しません。

C. Narrow Search : 表示された検索集合を分析し、出現頻度の高い主題キーワード、著者名、ジャーナル名を表示することにより、効率的な絞り込みを可能にします。

Your Search または **Narrow Search** セクションの中で ▶ アイコンが表示される場合は、より詳細な概念をあらわす選択肢の存在が示唆されていることを意味します。アイコンをクリックしてドロップダウン・メニューをで確認してください。

D. Broaden Search : 表示されている検索結果が、Basic Search 中で Include Related Terms (関連用語を含める検索)をしていない場合、より広範な検索結果を得るために、Broaden Search として Include Related Terms 検索を実行させることができます。**Add Related Terms** をクリックすると、関連する用語を含めての拡大検索がおこなわれます。

Result Manager

Result Manager で検索結果の表示・印刷のプレビュー & 印刷・E-メール送信・保存を行います。

Results Manager は、以下の出力オプションを提供しています。

a. 出力モードの選択

- **Display** 選択したレコードを、指定したフィールド、フォーマットとアクティブ・リンクと共に表示します。
- **Print Preview** 選択したレコードを、指定したフィールド、フォーマットで印刷プレビュー画面として表示します(アクティブ・リンクは表示されません)。ウェブ・ブラウザの印刷機能を使って印刷します。
- **E-Mail** 選択したレコードを、指定したフィールド & フォーマットにて、表示された画面から移動することなく、指定した e-mail アドレスへ送信します。
- **Save** 選択したレコードを ASCII または HTML フォーマットでダウンロード・保存します。

b. 出力するレコードの選択

- **Selected Results** : 現在表示されている画面上から選択されたレコードのみ
- **All on this page** : 画面上に表示されているページにあるレコード全部(デフォルトでは 10 件)
- **All in this set** : 現在の表示している検索集合に含まれる全レコード

c. 出力するフィールドの指定 : あらかじめ定められている組合せ(Citation, Citation + Abstracts など)または全情報出力(Complete Reference)オプションを選択します。**Select Fields** をクリックして、任意のフィールドを選択して出力することもできます。

d. 出力するフォーマットの指定:

- Ovid
- BRS/タグ付
- リプリント/Medlars
- Brief title display
- Direct Export から選択できます

e. レコードの並べ替え 任意の項目を指定して出力前にレコードの並び替えができます。

Result Manager は、デフォルトで一度に最大 500 レコードを出力します。(一度に出力するレコード数を変更する場合は、Ovid Technologies Japan office までお申し付けください。)

Ovid Experience

Ovid の豊富な経験

科学およびヘルスケア業界の専門家、研究者、学生、情報マネージャーの方々は

- ・ 新しい理論の探索
- ・ 発見の促進
- ・ 継続中の研究に関する情報提供
- ・ 患者のケアの改善

などの目的に必要な情報を入手するために、Ovid に高い信頼を寄せています。

私たちはカスタマイズされた臨床・研究・教育ソリューションを提供して、個人および機関が情報を知識へと変える手助けをしています。

OvidSP での体験

OvidSP は

- ・ シンプルなインターフェース
- ・ 精密な検索技術、および
- ・ 時間節約型ツール

を提供し、検索と探索プロセスを効率化しています。

医学および関連分野の基礎研究者や企業などの Ovid の主要な顧客の方々は、OvidSP をお使いになることにより、世界中の優れた出版社が発行する高品質な学術的・科学的コンテンツを検索でき、ピアレビューされたジャーナル、医学教科書や書誌事項データベースなどのさまざまな情報源から仕事に必要な関連情報を探し出すことができます。

OvidSP は Ovid Web Gateway と SilverPlatter WEBSPIRS の高度かつ精密な検索技術を組み入れて、専門的なユーザーの継続的なニーズに応えています。さらに、初心者や頻りに検索を行うことのない利用者にも、新しいガイダンス機能の付加された検索モードを提供すると同時に、あらゆるユーザーの貴重な時間を節約できるように作業効率を高める新しいツールや機能も備えています。

OvidSP の特徴

さまざまな検索方法: お好みの検索モードを選んで検索を実行できます。自然語(文章形式による質問)をサポートする Basic Search から、従来のコマンド・ライン・シンタックスによる検索をサポートする Advanced Ovid Search または SilverPlatter Search まで用意されています。

Natural Language Processing : Basic Search タブでは、日常的に使う言語の文章形式での入力による検索ができます。検索結果は適合性の高い順にランキング表示され、より短時間により適切な検索結果にたどり着くことができます。

直感的なインターフェース・デザイン: 新機能やさまざまなツールは、判りやすい位置に表示され、インターフェイスそのものも現代的な外観に生まれ変わりました。

さまざまなコンテンツの同時一括検索: 電子ブック、電子ジャーナル、データベースと、異なるタイプのコンテンツを、迅速かつ簡便に横断検索できます。

迅速で簡便かつ精密な検索: 検索プロセスの透明性が高く、利用した検索語の一覧から、上位概念や下位概念を用いた検索の絞り込みや拡大も可能です。

検索結果画面の改善: インライン・アブストラクト、注釈付加機能、RSS フィード経由で配信される電子目次(eTOCS)など、検索結果の出力まわりが強化されました。非常に多くのフィールドをキーとして、検索結果を何度でも並べ替えることができます。

OvidSP のデモンストレーションをご希望の場合は、Ovid Technologies Japan office までご相談ください。

Ovid について

Wolters Kluwer Health に属する Ovid は、グローバルな情報ソリューション・プロバイダーとして、医学、科学ならびに基礎研究分野の臨床医、医療関連のプロフェッショナル、学生や研究者にカスタマイズ可能なソリューションとしてコンテンツ・ツール・サービスを提供し、研究をより活発に、より迅速に、より効率的に行う手助けをしています。Ovid は世界有数の総合大学、医科大学、基礎研究図書館や図書館協会、病院やヘルスケア機関、医薬・エンジニアリング・バイオテクノロジー企業、HMO および開業医の方々にご利用いただいています。

Wolters Kluwer Health は Wolters Kluwer 社の一部門です。
